

ウエルアップ

日常の生活導線にセルフケアを組み込む 女性向け次世代ヘルスケア空間「MiniRefre」オープン

ウエルアップの女性向けセルフケア空間「MiniRefre」がイオンモール津田沼South店内にオープンした。健康測定機器の提供を通じ健康管理の新しいカタチを追求してきた同社が、日常導線上にセルフケア環境を実装する新たな取り組みとして注目されている。



イオンモール津田沼South店2Fにオープンした女性向けセルフケア空間「MiniRefre」

女性の健康を考えた 3つの健康機器を採用

健康測定機器の販売・レンタルをはじめ、健康増進事業・健康イベントの企画・運営等を行うウエルアップは2026年3月、イオンモール津田沼South店2Fに、女性向けセルフケア空間「MiniRefre(ミニリフレ)」を開設した。

同社はこれまで全国約400店舗のイオングループに健康測定機器を導入し、血圧・体組成・血管年齢・野菜摂取量などのセルフチェック環境を提供してきた。健康測定機器等を通じて、健康状態の可視化と社会全体のウェルビーイング向上をめざす同社にとって今回の取り組みは新たな挑戦となる。

店舗には「温熱指圧ベッド」「骨盤底筋トレーニングチェア」「セルフホワイトニング」という3つのセルフケア機器を導入。「温熱指圧ベッド」は疲労回復・血行促進・筋肉のコリ改善・神経痛緩和・胃腸の

活性化などの効果が期待でき、「骨盤底筋トレーニングチェア」は姿勢改善、尿もれや排泄トラブルの軽減、ぼっこりお腹やヒップのたるみ対策、骨盤内臓器の位置補正に寄与する。「歯のセルフホワイトニング」は、美容面での歯の美白効果だけでなく、歯周病予防や口臭予防といったオーラルケア全般に役立つ。いずれもスタッフの手技を必要とせず、短時間で体感しやすい点が特徴だ。

基本料金は「温熱指圧ベッド」「骨盤底筋トレーニングチェア」が約30分3500円、「セルフホワイトニング」が約30分4500円。LINEで簡単に予約でき、当日利用も可能だ。また着替えも不要なので、通勤通学や買物帰りにも気軽に立ち寄ることができる。

ヘルスケア領域においてフェムケアが注目される中、女性が気軽に体のケアを行える環境はまだ少ない。「MiniRefre」はショッピングモールという日常の生活導線の中にセルフケアできる

環境を提供することで、隙間時間でのリカバリーを可能にし、女性の健康支援を行う仕組みとなっている。

流通×ヘルスケアの 新たな協業スキームを提示

ウエルアップが「MiniRefre」を立ち上げた背景には、同社による多店舗展開ではなく、小売企業が導入できる健康支援モデルとしてスキームを提示するねらいがある。

ドラッグストアをはじめとした小売店舗には薬剤師相談や栄養相談、セルフ測定など健康支援の要素が揃う一方、運動やフェムケアといった領域は手薄だ。同社は以前から売場の一角に簡易トレーニングスペースを設ける「ドラトレ」を提案してきたが人員配置や運営負荷がネックで導入は進みにくかった。そこで同社は「セルフで完結するケア機器」に着目し、5～7坪の省スペースで運営できる「MiniRefre」を開発したという。

今回の「MiniRefre」は、女性向けセルフケア空間としての価値だけでなく、流通企業が自ら健康支援機能を持つための実証モデルとしての役割を担っている。モデル店である今回の店舗では体験者から評価を得ている一方、集客が課題となっており、店頭での声かけやSNSでの情報発信、口コミ獲得などを通じ改善点を探っている。

ウエルアップは、女性向けの「MiniRefre」、運動習慣を促す「ドラトレ」、シニア向けのフレイル予防モデルなど、健康測定機器やトレーニング機器、リカバリーマシンを活用した、生活者が日常の中で自然にセルフケア・セルフチェックできる社会インフラの構築をめざしている。調剤待ち時間の活用、ヘルスケア商品の購買促進、地域の健康拠点としての社会的意義など、導入することによる小売業側のメリットも大きい。

ウエルアップでは今後も、健康行動の定着とストアロイヤルティの向上を兼ね備えた「流通×ヘルスケア」の新たな形を提示していきたいとしている。